

株式会社 HANERU 葛尾  
松延紀至浜通り復興に  
向けたメッセージ

世界に誇れる安全・安心なバナメイエビ生産の開発拠点として、葛尾村の名を全国に轟かせ、帰還支援と移住促進に貢献できるよう邁進します。

ウルトラファインバブル技術を活用した高効率な  
水産物陸上養殖技術と高鮮度出荷技術の実用化開発無薬注陸上養殖技術の実用化により  
安全・安心な国産バナメイエビを提供する

バナメイエビの無投薬飼育を可能とするウルトラファインバブル技術を活用することで、高効率養殖技術や高鮮度出荷技術の実用化開発を行い、浜通り地域における陸上養殖の研究開発拠点としての整備を行います。

## 開発背景

近年、世界的な水産物需要の高まりや急激な円安などから、日本の水産物購買力の将来的な低下が懸念されており、気候変動等の影響がない陸上養殖に対する期待が高まっています。とりわけ国内消費量の約9割を輸入に頼るエビの陸上養殖が、注目を集めています。原発被災地で寒冷地の葛尾村において無投薬陸上養殖技術を実用化することにより、安全・安心な風評被害のない水産物の生産を実現します。

## 実用化開発の目標

実用化時期	令和6年度（2024年度）
販売製品・サービス名	活バナメイエビ（商品名は未定）
成果物（最終年度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウルトラファインバブルを活用した陸上養殖システム</li> <li>・活エビで出荷できる高鮮度出荷システム</li> <li>・管理容易性を実現する画像解析システム</li> </ul>
創出される経済効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・葛尾村における新たな名産品の創出</li> <li>・バナメイエビ陸上養殖を中心とした関連企業の誘致</li> <li>・原発事故避難者の帰還支援に貢献する雇用創出</li> </ul>

## 開発のポイント

要素技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無投薬陸上養殖を実現するウルトラファインバブル技術</li> <li>・陸上養殖における管理容易性を実現する画像解析技術</li> </ul>
開発のポイント	従来、閉鎖循環式陸上養殖において課題となる細菌性疾病に対して、本開発によって消費者が安心できる無投薬養殖が実現できます。

実施期間 2022～2023年

実用化開発場所 葛尾村

連携自治体 葛尾村

## 浜通り地域への経済波及効果

- ・新規雇用3名
- ・今後の新規雇用3名程度（2023年度浜通り地域内で採用予定）
- ・拠点立地件数1件（葛尾村）
- ・県立小名浜海星高校との連携協定に基づく飼育試験
- ・エサの開発に関して南相馬市の企業と共同研究
- ・プラント資材の調達を浜通り地域企業3社より調達
- ・出資企業でもあり、いわき市に本社を置く山菱水産における品質評価と市場調査

## これまでに得られた成果

- ・約15cm・20gに成長したバナメイエビ
- ・ウルトラファインバブルを活用した陸上養殖システムの試作機
- ・画像解析システム試作機
- ・福島民友、福島民報記事（2022年3月24日）

## 株式会社 HANERU 葛尾

福島県双葉郡葛尾村大字野川字湯ノ平84-2

☎ 090-1535-8994（担当：松延紀至）

✉ haneruhonsya@hanerukatsurao.com

投資規模 1~5億円 開発人数 10名未満

販売時期 令和6年度（2024年度）

販売形態

- ・活エビの販売
- ・陸上養殖コンサルタント
- ・陸上養殖システム販売

販売見込先

- ・山菱水産
- ・葛尾村ふるさと納税返礼品
- ・葛尾村あぜりあでの販売
- ・葛尾村給食センターへの販売

協業希望先

- ・大手建設会社、鉄道会社、電力会社等インフラ企業、
- ・上下水道事業者をはじめとした地方公共団体（遊休財産の利活用）